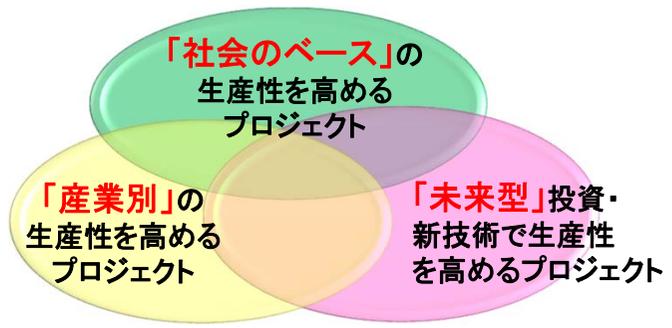


- ・人口減少下でも、労働者の減少を上回る生産性を向上させることで、経済成長の実現が可能。
- ・本年を「**生産性革命元年**」とし、国土交通省を挙げて**生産性革命**に取り組む。

生産性革命の3つの切り口



これまでに選定された生産性革命プロジェクト

- 「社会のベース」**の生産性を高めるプロジェクト
 - ・渋滞をなくすピンポイント対策と賢い料金
 - ・クルーズ新時代の港湾
 - ・コンパクト・プラス・ネットワーク
 - ・土地・不動産の最適活用
- 「産業別」**の生産性を高めるプロジェクト
 - ・建設産業 i-Construction
 - ・住生活産業
 - ・造船業 i-Shipping
 - ・物流産業
 - ・トラック輸送
 - ・観光産業
- 「未来型」**投資・新技術で生産性を高めるプロジェクト
 - ・科学的な道路交通安全対策
 - ・成長循環型の「質の高いインフラ」海外展開

取組例1 渋滞のピンポイント対策

○ 渋滞損失は移動時間の**約4割**

一人あたり約100時間 ← → 一人あたり約40時間

■ 高速道路 実容量の低下箇所をデータにより特定し、ピンポイントで是正

基準所要時間 すいている時の走行時間 約80億人・時間	損失時間 混雑で余計にかかる時間 約50億人・時間
-----------------------------------	---------------------------------

約4割

【ネットワーク整備】
 【事例】
 ○中国道 宝塚付近
 ⇒ 新名神の整備(H28)
 (高槻JCT~神戸JCT)

【効果例】
 ○浜松いなさJCT~豊田東JCTの開通により、
 ・現東名の渋滞が月24回⇒ゼロ
 ・労働生産性が約6%向上

【ピンポイント対策】
 ■渋滞の発生要因：約28%がサグ部及び上り坂
データ分析による対策で解消を図る
 関係機関や地元の合意を得ながら、対策を検討・実施

○東名高速 大和トンネル付近

上下線の大和トンネル付近において、上り坂・サグ部等の対策を実施。

取組例2 i-Construction

○ 土工について、測量・施工・検査等の全プロセスでICTを活用。新基準を策定し、国が行う大規模土工は原則としてICTを全面適用することで大幅に生産性を向上。

測量	施工	検査
ドローン等による3次元測量	ICT建機による施工	3次元データをPCで確認

取組例3 「観光先進国」の実現に向けて

○ 拡大が予想される国際観光マーケットにおいて熾烈な競争に勝ち抜くため、受入環境を整備しつつ、観光産業の競争力を強化して基幹産業に成長させる。

■ 観光産業の業務体制や人材育成等の総合的な見直し

- 宿泊業における生産性向上と受入体制整備に対する支援
- 観光人材の育成強化
- 各種規制の見直し(宿泊業、旅行業、通訳案内士、ランドオペレーター)

■ 観光地経営の改革

- 世界水準のDMOの形成・育成
- 「観光地再生・活性化ファンド」の継続的な展開

■ 休暇の改革

- 休暇の分散化を通じた観光需要の平準化による観光産業の生産性向上

■ クルーズ船需要の取込み

- クルーズ船寄港の「お断りゼロ」の実現
- 国際クルーズの拠点形成等

タブレット端末やモニターの活用による業務効率化